

# 景 気 動 向 調 査

( 第 178 回 )

2015 年 7 月 ~ 9 月 期 実 績

2015 年 10 月 ~ 12 月 期 予 測

株 式 会 社 北 日 本 銀 行

経 営 企 画 部

## 目 次

調査要領	.....	1
概 況	.....	2
1．県内景況感について	.....	4
2．業況について		
(1) 売上高または出荷高	.....	5
(2) 仕入高または生産高	.....	6
(3) 在 庫	.....	7
(4) 収 益	.....	8
(5) 販売価格・仕入価格	.....	9
3．設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	.....	10
(2) 設備投資の目的	.....	11
4．資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	.....	12
(2) 現金・預金	.....	13
(3) 金融機関借入	.....	13
(4) 販売代金回収期間	.....	14
(5) 仕入代金決済期間	.....	14
5．経営上の問題点について	.....	15

## 調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

### 記

- 1．実施時期 2015年9月中旬～10月中旬
- 2．調査対象期間 2015年7月～9月期実績  
2015年10月～12月期予測
- 3．調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先 岩手県内企業302社
- 5．回答数 158通（回答率 52.32 %）  
<内訳> 製造業51社 建設業31社 卸・小売業76社
- 6．調査の主要項目 (1) 業況について  
(2) 設備投資の動向について  
(3) 資金繰りの状況について  
(4) 当面する経営上の問題点について

以 上

#### 【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

## 概 況

2015年7～9月期の岩手県内企業の景況感DIは、全体で 35.5 と前期（2015年4月～6月期） 27.8 に比較し、7.7ポイント低下した。  
2015年10～12月期は、上向き予想となっているものの、個別の各指標は、業種によりバラツキが見られ、小幅ながら低下見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	7～9月期実績	10～12月期見通し
景況感	35.5	28.0
売上高・出荷高	11.4	11.7
収益	7.6	11.3
販売価格	7.7	4.0
仕入価格	25.2	21.2
資金繰り	9.6	10.4

### ・岩手県内企業「景況感DI」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感DI
1	第153回	09年1～3月	92.7
2	第152回	08年10～12月	91.3
3	第124回	01年10～12月	91.2
4	第109回	98年1～3月	90.6
5	第111回	98年7～9月	90.0

（1971（昭和46）年以降）

### <岩手県の参考データ>

#### ・有効求人倍率の推移

平成27年

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.13	1.11	1.11	1.20	1.23	1.21	1.27	1.27				

平成26年

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.09	1.10	1.07	1.11	1.13	1.08	1.05	1.05	1.05	1.10	1.12	1.17

#### ・新設住宅着工戸数の推移

平成27年

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
689	546	681	742	725	887	726	852				

平成26年

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
608	433	723	802	703	782	647	844	778	1,127	650	757

## 1. 県内景況感について

全体のD Iは、35.5であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が35.3、建設業が32.3、卸・小売業が36.9と前回調査時と比べて景況感は、全業種で悪化した。

10～12月期見通しでは、製造業が20.9、建設業が25.8、卸・小売業は33.8と、全業種で上向き予想となっている。

## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では11.4であった。業種別では、製造業が2.0、建設業が32.3、卸・小売業が9.1である。

### (2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが7.9、卸・小売業の仕入高は14.7となっている。

### (3) 在庫

製造業の製品在庫D Iは15.8、卸・小売業の商品在庫は5.8となっている。

### (4) 収益

D Iは、全体では7.6となっている。業種別では、製造業が4.0、建設業が17.3、卸・小売業が6.5である。

### (5) 販売価格・仕入価格

販売価格は7.7、仕入価格は25.2となっている。

## 3. 設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は29.7%となっている。

業種別では、製造業が39.2%、建設業が16.1%、卸・小売業が28.8%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「経営の多角化」が3位となっている。

## 4. 資金繰り状況について

D Iは、全体では9.6であった。業種別では、製造業が15.8、建設業が3.2、卸・小売業が10.7である。

## 5. 経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「人手不足」、「原材料・仕入価格高」が上位を占めている。

# 1. 県内景況感について

～ 全業種とも実績は悪化、予想は上向き ～

[7～9月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が8.8%（前期12.4%）、「悪い」が44.3%（同40.2%）で、DIは 35.5（同 27.8）と、前期に比べて7.7ポイント悪化した。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 35.3（同 31.6）、建設業が 32.3（同 13.9）、卸・小売業が 36.9（同 31.6）となっており、全業種で悪化した。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が11.2%、「悪くなる」が39.2%であることから、DIは 28.0となり、7～9月期実績と比較して上向き見通しとなっている。

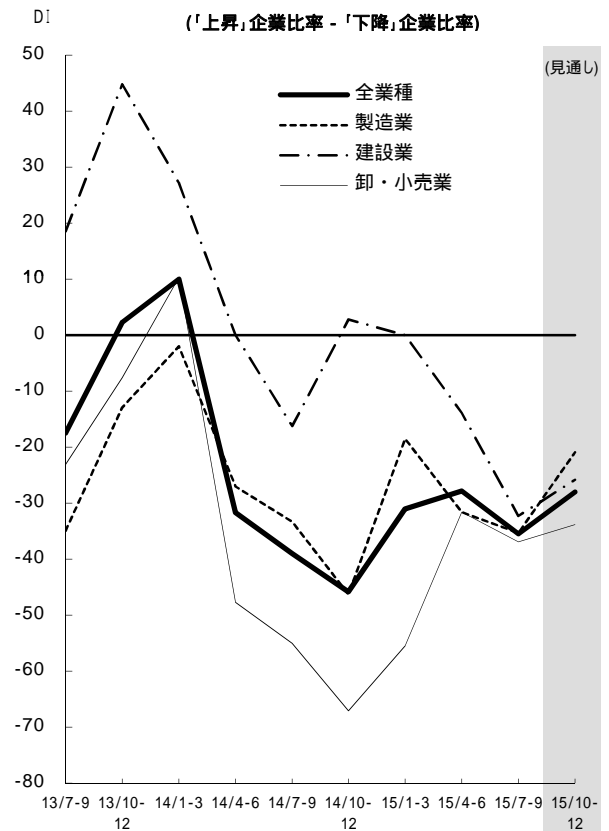
業種別にみると、製造業が 20.9、建設業が 25.8、卸・小売業が 33.8となっており、全業種で上向き見通しである。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	7～9月 (実績)	0.6	8.2	46.9	36.7	7.6	-35.5
	10～12月 (見通し)	0.7	10.5	49.6	33.3	5.9	-28.0
(製造業)	7～9月 (実績)	2.0	9.8	41.1	37.3	9.8	-35.3
	10～12月 (見通し)	2.1	10.4	54.1	27.1	6.3	-20.9
(建設業)	7～9月 (実績)	0.0	6.5	54.7	32.3	6.5	-32.3
	10～12月 (見通し)	0.0	9.7	54.8	32.3	3.2	-25.8
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	0.0	7.9	47.3	38.2	6.6	-36.9
	10～12月 (見通し)	0.0	10.8	44.6	37.8	6.8	-33.8

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率)



## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

～実績は製造業と建設業が低下、卸・小売業が上向き～

[7～9月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が34.8%(前期38.5%)、「減少」が46.2%(同41.4%)となり、DIは 11.4(同 2.9)と8.5ポイント低下した。

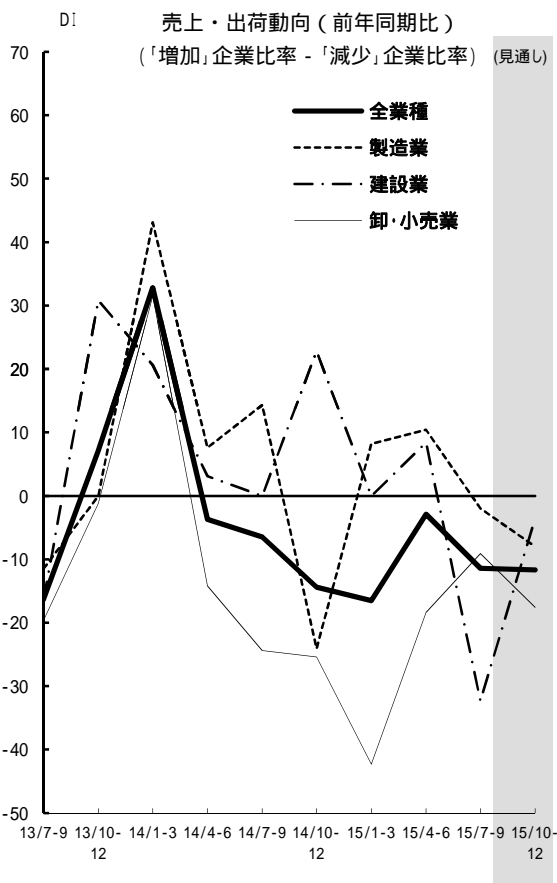
業種別にDIをみると、製造業 2.0(前期10.4)、建設業 32.3(同8.4)、卸・小売業 9.1(同 18.4)となっており、製造業と建設業で低下、卸・小売業は上向いた。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が25.5%、「減少」が37.2%であることから、DIは 11.7で7～9月期実績と比較してほぼ横ばいに推移する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業で 8.0、建設業で 3.5、卸・小売業で 17.6となっており製造業と卸・小売業は低下、建設業は上向く見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(% )					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	7.0	27.8	19.0	36.7	9.5	-11.4
	10～12月 (見通し)	5.9	19.6	37.3	29.4	7.8	-11.7
(製造業)	7～9月 (実績)	9.8	29.4	19.6	31.4	9.8	-2.0
	10～12月 (見通し)	8.0	16.0	44.0	22.0	10.0	-8.0
(建設業)	7～9月 (実績)	6.5	16.1	22.5	45.2	9.7	-32.3
	10～12月 (見通し)	10.3	24.1	27.7	31.0	6.9	-3.5
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	5.3	31.6	17.1	36.8	9.2	-9.1
	10～12月 (見通し)	2.7	20.3	36.4	33.8	6.8	-17.6



(2) 仕入高または生産高

～ 実績は製造業、卸・小売業とも低下～

[7～9月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が25.5%（前期29.8%）、「減少」が33.4%（同29.9%）であり、DIは 7.9（同 0.1）と7.8ポイント低下した。

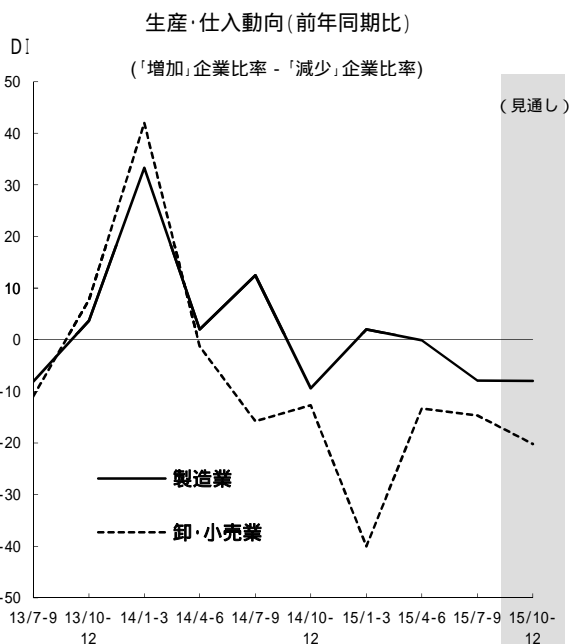
卸・小売業（仕入高）では、「増加」と答えた企業は32.0%（前期同）、「減少」が46.7%（同45.3%）で、DIは 14.7（同 13.3）と1.4ポイント低下した。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については、「増加」と答えた企業が20.0%、「減少」が28.0%であることから、DIは 8.0で、7～9月期実績とほぼ同じ見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が20.3%、「減少」が40.5%であることから、DIは 20.2で、7～9月期実績と比較して5.5ポイント低下する見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		（%）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
（製造業）	7～9月 （実績）	5.9	19.6	41.1	27.5	5.9	-7.9
	10～12月 （見通し）	4.0	16.0	52.0	24.0	4.0	-8.0
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	5.3	26.7	21.3	38.7	8.0	-14.7
	10～12月 （見通し）	1.4	18.9	39.2	35.1	5.4	-20.2





(3) 在庫

～ 在庫水準はほぼ適正に推移 ～

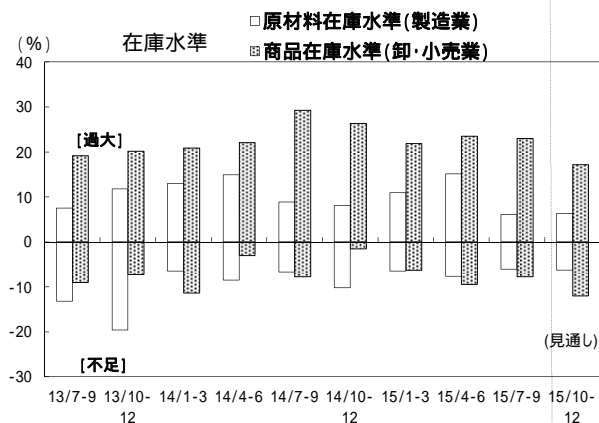
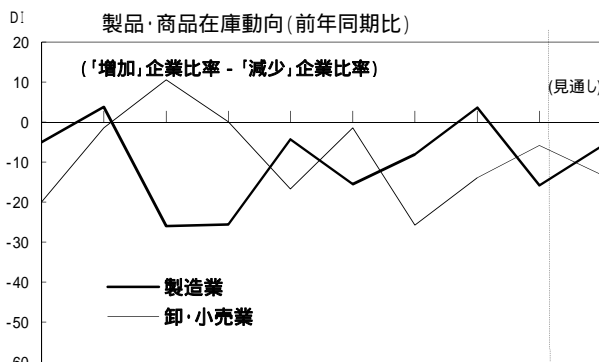
[7～9月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は17.6%（前期24.6%）、「減少」が33.4%（同21.0%）であることから、DIは 15.8（同3.6）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が10.0%（同21.4%）、「適正」が78.0%（同64.3%）、「不足」が12.0%（同14.3%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が18.8%（前期12.5%）、「減少」は24.6%（同26.4%）であることから、DIは 5.8（同 13.9）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が23.0%（同23.5%）、「適正」が69.3%（同67.1%）、「不足」が7.7%（同9.4%）である。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が18.0%、「減少」が24.0%で、DIは 6.0となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が8.7%、「適正」が82.7%、「不足」が8.6%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が13.2%、「減少」が26.4%であることから、DIは 13.2となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が17.2%、「適正」が70.8%、「不足」が12.0%である。

製品・商品在庫(前年同期比)

		（%）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
（製造業）	7～9月 （実績）	3.9	13.7	49.0	27.5	5.9	-15.8
	10～12月 （見通し）	0.0	18.0	58.0	22.0	2.0	-6.0
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	0.0	18.8	56.6	18.8	5.8	-5.8
	10～12月 （見通し）	0.0	13.2	60.4	23.5	2.9	-13.2



(4) 収 益

～ 収益実績は卸・小売業が上向き、見通しは製造業が上向き～

[7～9月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が27.6%（前期32.0%）、「減少」が35.2%（同39.0%）であり、DIは7.6（同7.0）となり、ほぼ横ばいに推移した。

業種別にDIをみると、製造業4.0（前期5.2）、建設業17.3（同8.3）、卸・小売業6.5（同23.6）と、製造業と建設業は低下、卸・小売業は上向いた。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が22.3%、「減少」とみる企業も33.6%であることから、DIは11.3で、7～9月期実績と比較して低下する見通しである。

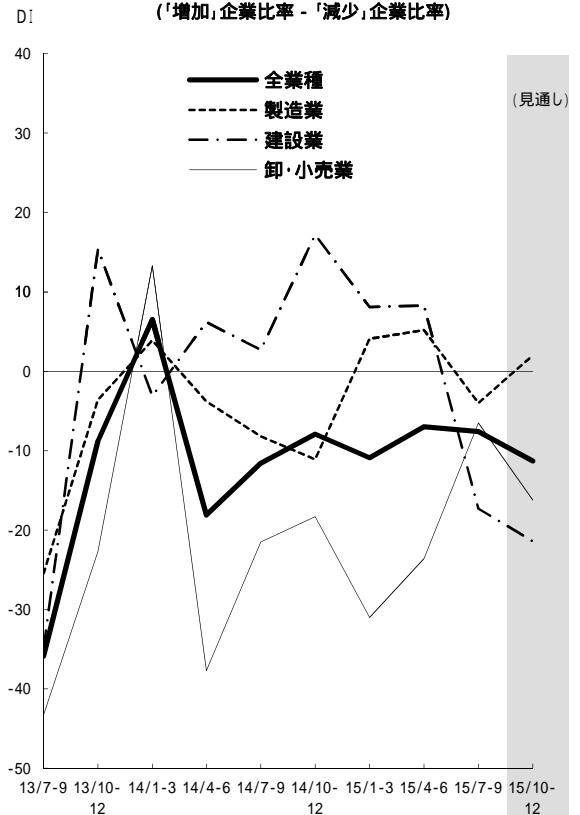
業種別にDIをみると、製造業2.0、建設業21.4、卸・小売業16.2で、7～9月期実績と比較して、製造業は上向き、建設業と卸・小売業は低下見通しである。

収 益 (前年同期比)

		(%)						
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI	
全業種	7～9月 (実績)	7.7	19.9	37.2	23.7	11.5	-7.6	
	10～12月 (見通し)	3.9	18.4	44.1	25.7	7.9	-11.3	
(製造業)	7～9月 (実績)	9.8	17.6	41.2	15.7	15.7	-4.0	
	10～12月 (見通し)	4.0	24.0	46.0	18.0	8.0	2.0	
(建設業)	7～9月 (実績)	10.3	10.3	41.5	31.0	6.9	-17.3	
	10～12月 (見通し)	3.6	14.3	42.8	21.4	17.9	-21.4	
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	5.3	25.0	32.9	26.3	10.5	-6.5	
	10～12月 (見通し)	4.1	16.2	43.2	32.4	4.1	-16.2	

収益動向 (前年同期比)

(「増加」企業比率 - 「減少」企業比率)



(5) 販売価格・仕入価格

～ 仕入価格のD Iは低下傾向 ～

[7～9月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が22.5%（前期25.0%）、「低下」が14.8%（同11.9%）であることから、D Iは7.7（同13.1）と低下した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が36.8%（前期47.1%）「低下」が11.6%（同11.3%）であることから、D Iは25.2（同35.8）と低下した。

[10～12月期の見通し] 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が21.0%、「低下」とみる企業が17.0%であることから、D Iは4.0となった。

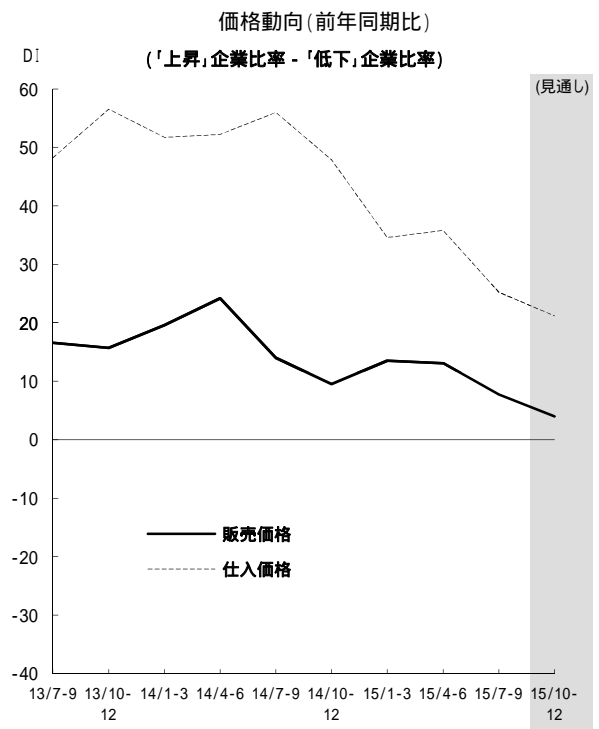
仕入価格については、「上昇」とみる企業が35.1%、「低下」とみる企業が13.9%であることからD Iは21.2と低下見通しとなっている。D Iは低下傾向が続いている。

販売価格(前年同期比)

		D I (%)					
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	D I
全業種	7～9月 (実績)	1.3	21.2	62.7	12.2	2.6	7.7
	10～12月 (見通し)	0.7	20.3	62.0	13.7	3.3	4.0

仕入価格(前年同期比)

		D I (%)					
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	D I
全業種	7～9月 (実績)	3.9	32.9	51.6	10.3	1.3	25.2
	10～12月 (見通し)	2.6	32.5	51.0	12.6	1.3	21.2



### 3.設備投資の動向について

#### (1) 設備投資の実施状況

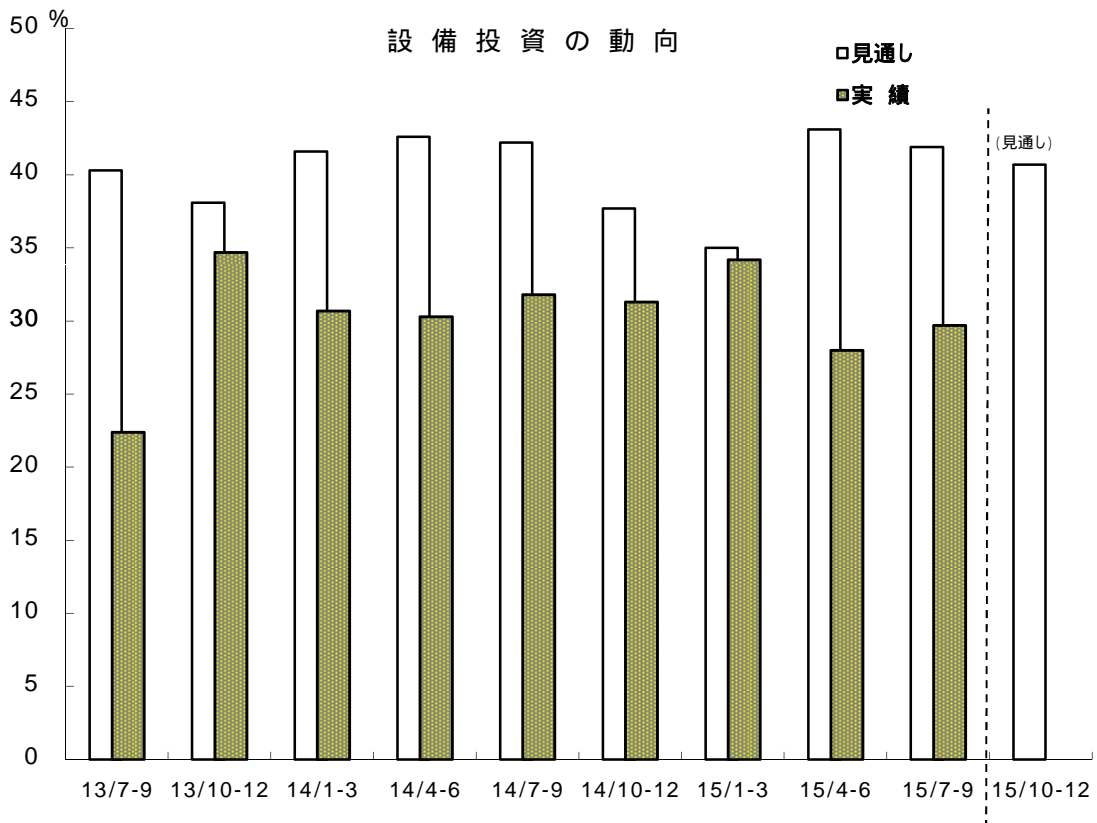
～ 実績は製造業と卸・小売業が増加、建設業は減少 ～

[7～9月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は29.7%（前期28.0%）と前期比やや増加した。

これを業種別にみると、製造業39.2%（前期30.4%）、建設業16.1%（同25.0%）、卸・小売業28.8%（同27.7%）であり、製造業と卸・小売業は増加、建設業は減少した。

[10～12月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で26.0%（前期26.7%）、「計画はあるが具体化していない」は14.7%（同15.2%）、「計画はない」は59.3%（同58.1%）であった。「計画あり」は合計40.7%となっている。

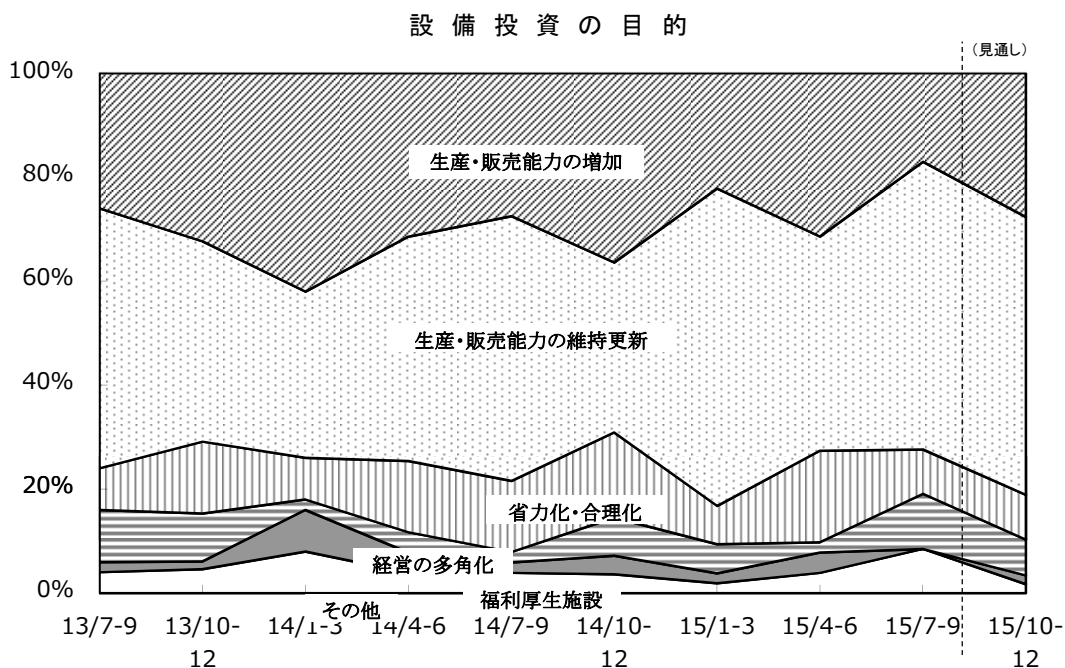
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、製造業で51.1%（前期54.6%）、建設業で25.8%（同30.5%）、卸・小売業で40.0%（同37.8%）の見通しとなっている。



## (2) 設備投資の目的

**[7～9月期の実績]** 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(29.7%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が55.3%（前期41.2%）でトップとなり「生産・販売能力の増加」が17.0%（同31.4%）で2位となった。業種別で見ても、全業種で「生産・販売能力の維持更新」がトップであった。

**[10～12月期の見通し]** 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(40.7%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が53.4%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」27.6%、「省力化・合理化」が8.6%で3位となっている。



## 4. 資金繰り状況について

### (1) 資金繰り状況

～ 見通しは製造業と卸・小売業で上向き予想～

**[7～9月期の実績]** 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が15.4%（前期20.8%）、「苦しくなった」が25.0%（同20.3%）であることから、D Iは△9.6（同0.5）と低下した。

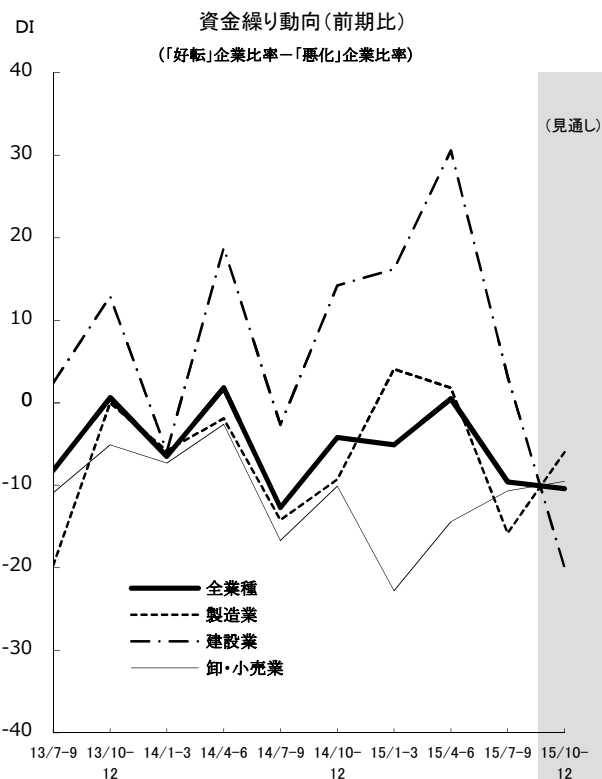
業種別にD Iをみると、製造業が△15.8（前期1.8）、建設業が3.2（同30.6）、卸・小売業は△10.7（同△14.4）と製造業と建設業は低下、卸・小売業は上向いた。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が15.1%、「苦しくなる」が25.5%で、D Iは△10.4となり、10～12月期実績と比較して、ほぼ横ばいに推移する見通しとなっている。

業種別にD Iをみると、製造業△6.0、建設業△20.0、卸・小売業△9.5となっており、製造業と卸・小売業で上向き、建設業で低下する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		（％）						
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	DI	
全業種	7～9月 （実績）	5.8	9.6	59.6	20.5	4.5	-9.6	
	10～12月 （見通し）	2.0	13.1	59.4	20.9	4.6	-10.4	
（製造業）	7～9月 （実績）	9.8	7.8	49.0	21.6	11.8	-15.8	
	10～12月 （見通し）	4.0	20.0	46.0	20.0	10.0	-6.0	
（建設業）	7～9月 （実績）	3.2	12.9	71.0	9.7	3.2	3.2	
	10～12月 （見通し）	0.0	6.7	66.6	26.7	0.0	-20.0	
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	4.1	9.5	62.1	24.3	0.0	-10.7	
	10～12月 （見通し）	1.4	11.0	65.7	19.2	2.7	-9.5	



## (2) 現金・預金

**[7～9月期の実績]** 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が17.8%（前期24.2%）、「減少した」が29.9%（前期も27.2%）であることからDIは△12.1（同△3.0）と低下した。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が19.0%、「減少する」が30.9%であることから、DIは△11.9とほぼ横ばいに推移する見通しとなっている。

## (3) 金融機関借入

**[7～9月期の実績]** 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が15.5%（前期9.7%）、「減少した」が35.5%（同42.0%）であることから、DIは△20.0（同△32.3）と上昇した。

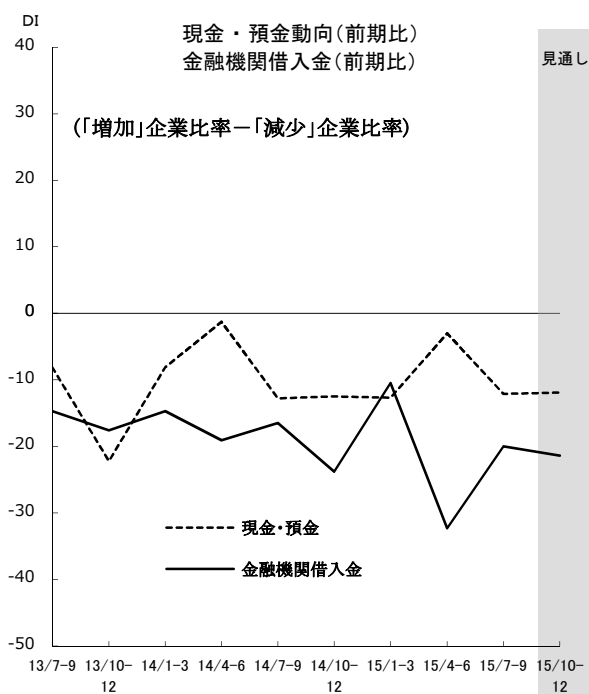
**[10～12月期の見通し]** 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が12.8%、「減少する」が34.2%であることから、DIは△21.4とやや低下する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	3.8	14.0	52.3	24.2	5.7	-12.1
	10～12月 (見通し)	2.6	16.4	50.1	26.3	4.6	-11.9

金融機関借入金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	5.2	10.3	49.0	30.3	5.2	-20.0
	10～12月 (見通し)	4.7	8.1	53.0	30.2	4.0	-21.4



#### (4) 販売代金回収期間

**[7～9月期の実績]** 販売代金回収期間（前期比）については、「短くなった」とする企業が1.9%（前期4.8%）、「長くなった」が8.3%（同4.2%）であることから、DIは△6.4（同0.6）となった。また89.8%（同91.0%）の企業は「変わらない」としている。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「短くなる」とみる企業が1.3%、「長くなる」が8.6%であることから、DIは△7.3となる。また、90.1%の企業は「変わらない」とみている。

#### (5) 仕入代金決済期間

**[7～9月期の実績]** 仕入代金決済期間（前期比）については、「長くなった」とする企業が1.3%（前期1.2%）、「短くなった」が3.8%（同1.2%）であることから、DIは△2.5（前期0.0）となった。また、94.9%（前期97.6%）の企業は「変わらない」としている。

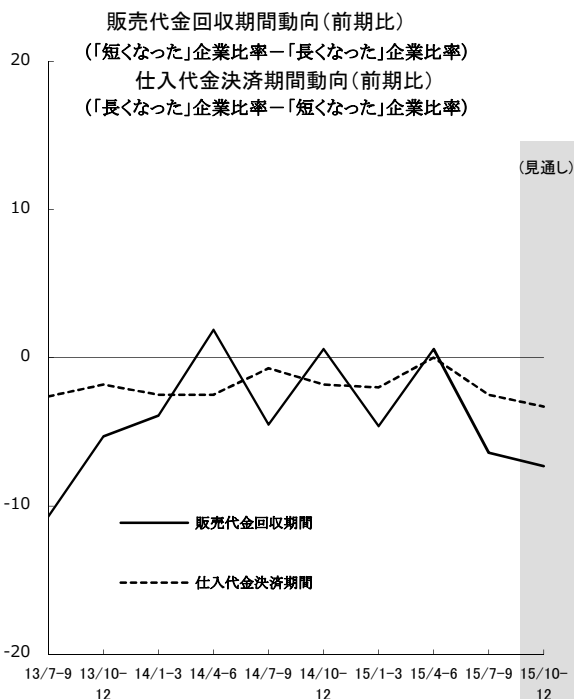
**[10～12月期の見通し]** 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「長くなる」とみる企業が1.3%、「短くなる」が4.6%であることから、DIは△3.3となる。また、94.1%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間（前期比）

		（％）					DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く	
全業種	7～9月 （実績）	0.0	1.9	89.8	8.3	0.0	-6.4
	10～12月 （見通し）	0.0	1.3	90.1	8.6	0.0	-7.3

仕入代金決済期間（前期比）

		（％）					DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く	
全業種	7～9月 （実績）	0.0	1.3	94.9	3.2	0.6	-2.5
	10～12月 （見通し）	0.0	1.3	94.1	3.9	0.7	-3.3





## 5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は製造業と卸・小売業は「売上・受注不振」、  
建設業は「人手不足」～

7～9月期における経営上の問題点をみると、**全業種**では「売上・受注不振」21.3%（前期20.9%）、「人手不足」16.8%（前期14.8%）、「原材料・仕入価格高」11.5%（同17.3%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、**製造業**では「売上・受注不振」が20.9%で1位、続いて「原材料・仕入価格高」と「人手不足」が13.2%で2位となっている。

**建設業**では「人手不足」が28.0%で1位となり、「売上・受注不振」が18.0%で2位、「過当競争」が16.0%で3位となった。

**卸・小売業**では「売上・受注不振」が22.7%で1位、「収益不振」と「人手不足」が14.2%となっている

### 経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

